

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020040

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B		
単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	生涯学習推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	学習会、講座の開設		関係課	#N/A		
事業目標	生きがい大学、町民大学、成人講座の開催		ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	
	事業費(千円)	3,250	650	650	650	650	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,250	650	650	650	650		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,176	454	400	322	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,176	454	400	322			
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 生きがい大学の開催10回 町民大学の開催3回 成人講座の開催1回	(実施内容等) 生きがい大学の開催9回 町民大学の開催5回 成人講座の開催1回	(実施内容等) 生きがい大学の開催7回 町民大学の開催3回 成人講座の開催1回	(実施内容等)	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	70%	62%	50%	0%	0%
	全体達成率	14%	26%	36%	36%	36%	
	備考欄						

事業名	生涯学習推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝 久

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	各学級、講座の開設数及び参加人数		
【抱える課題やニーズは】	自由に学習機会を選択し、共に学び合う支援体制づくりが必要である。		指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各世代の生活向上につながる学習機会の提供を行う。		① 生きがい大学10回 町民大学4回 成人講座2回	目 標 年 度	平成27 年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	自発的な活動への意識づくりが醸成され、学習成果が地域社会に還元される。			目 標 値	16 回
			実 績 値	11 回	
			達 成 度	68.8 %	
		② 生きがい大学500人 町民大学100人 成人講座250人	目 標 年 度	平成27 年度	
			目 標 値	850 人	
			実 績 値	819 人	
			達 成 度	96.4 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	生きがい大学	講演会、芸術鑑賞、世代間交流、健康教室、紋別地区交流会			
	町民大学	講演会			
	成人講座	書道講座			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	自発的な活動への意識を高めるため、学習機会の提供は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	各種学習機会の提供により、概ね目標どおりの参加が得られ、町民の学習意欲が向上しているものと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	講座の回数については、日程調整等の関係から目標を達成することはできなかったが、社会教育委員の会議で講師を選定するなど、町民のニーズに即した学習機会を提供することができた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	全町民に対する学習機会の提供であることから、公平性は保たれているものと判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
講座の回数については、日程調整等の関係から目標を達成することはできなかったが、学習内容を工夫し計画的に実施でき、概ね計画どおりに進捗した。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も参加者増に向け、学習内容の充実に努める。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止